

箕面駅周辺整備方針検討調査業務受託者選定会議における講評

1 総評

本プロポーザルへの企画提案書は、指名した全ての業者（5社）から提案をいただくことができた。この場をお借りして心からお礼申し上げたい。

箕面駅周辺整備方針検討調査業務の委託にあたり、箕面市が本プロポーザルを実施した目的は、箕面駅周辺の主な施設（駅前広場、市営駐車場・駐輪場）について、互いの連携による相乗効果の創出など、中心市街地の核である活性化重点整備地区に相応しい施設整備のあり方を検討するに当たり、多くの市民、関係者の意向を反映しつつ、有効な整備計画を提案できる経験と能力を有する業者を選定するためである。

それを踏まえ、本プロポーザルの実施に際し、箕面市が示した提案課題は、

(1) 市民合意形成の手法とプロセス

市民の共感を得た計画とするため、どのように市民意向を把握しようとするか

(2) 業務の進め方と着眼点

業務作業を進めるにあたり、何に主眼を置きどのように進めていこうと考えるかの2点であった。

これらの課題は、本調査業務を進めるにあたり、様々な立場及び様々な感性に基づく意見の相違が想定されるが、できるだけ多くの市民の意見及び合意を得たうえで整備基本計画を作成することにより、調査対象地域が市民にとって、あるいは来街者にとっても愛着のある地域となることをめざし、設定したものである。

提出された企画提案書は、上記の課題について、各々がこれまで培ってきた経験、知識等に基づき作成されていたが、各社の提案を聞き、選定会議委員で議論した結果、本調査業務の遂行に当たっては、箕面市の地域特性を踏まえた箕面駅周辺整備のあり方について充実した調査報告を求めると併せて、業務の遂行を通じて取り込まれる市民合意形成のプロセスが、将来、持続的・継続的にまちを育むための活動につながり、寄与できる可能性を期待できるか、という視点を重要視する意見が大勢をしめた。

こうした観点から、評価で差がついた項目は、

- 業務の進め方と着眼点について
- 箕面市の地域特性の理解と反映
- 市民意向の把握

で、3番説明者及び5番説明者の評価が高く、そのうちでも、5番説明者の評価が高い結果となった。

なお、5番説明者が本選定会議の結論として最も高い評価を得た理由は、箕面市の地域特性及び現状をよく把握しており、ワークショップや懇話会に対する市民参加の考え方、市民合意形成の手法とプロセスが、本調査業務の目的に沿い、よくまとまったものであり、

全体としても、地域の実情を踏まえた現実的かつ継続発展の可能性を感じさせる提案であったためである。

以上、選定会議で議論の結果、5番説明者を最優秀者、3番説明者を優秀者に特定すべきものと決した。なお、議論の過程において、今後、業務を遂行するに当たっては、以下の項目についてさらに検討すべき旨、意見集約されたので留意されたい。

- (1) ワークショップ、懇話会における市民合意形成のプロセスにおいて、さらに円滑な流れとなるように検討を加えること。
- (2) TMOとの関わりのなかで、TMOがどのような役割を担い、リーダーシップを発揮できるかについて、さらに検討すること。
- (3) 絵画コンクールの開催について、本調査業務の目的に合致した実効性を高めるためにさらなる工夫を検討すること。

2 1番説明者、2番説明者及び4番説明者に対する評価

1番説明者の提案は、全体としてそつのないものであったが、一方で、特に箕面市の地域特性及びその反映の点において、もう一步、具体的に踏み込んだ内容としていただきたかった。

2番説明者の提案は、1番説明者と同様に、具体性に欠けるところがあった。また、業務の進め方において、まずコンサルタント主導で案を作成し、その後、それに対して市民から意見をいただく旨の発言があり、本調査業務を進めるプロセスとしては、箕面市の考え方と相違点が見受けられた。

4番説明者の提案は、市民合意形成の手法及びプロセスという点で優れたものであったが、一方で、調査項目及び調査対象の選択について絞り込みが過ぎた印象があるとともに、調査の実施手法について、本調査業務全体としての客観性を担保できるのかという疑義があった。

3 優秀者（2番目に評価が高かった者）：3番説明者に対する評価

- 箕面市の地域特性及び現状を正確にとらえ、そのうえで提案が作成され、わかりやすくまとまっていた。
- 市民合意形成の手法とプロセスについては、一つ一つの取り組みとしては非常に興味のある提案であったが、イベントの要素が強いように見受けられ、その結果、ワークショップ、懇話会の関係及びそれを踏まえた基本整備計画案作成に至る合意形成プロセスが不明確である印象を拭えず、また、本業務の目的のひとつである今後及び将来のまちづくり活動への寄与という点で疑念が残り、次点の評価となった。

4 最優秀者（最も評価が高かった者）：5番説明者に対する評価

- 箕面市の地域特性及び現状を正確にとらえ、そのうえで提案が作成され、わかりやすくまとまっていた。また、調査項目においてもきめ細やかな提案となっていた。TMOとの協働体制においては、他の説明者の提案にも含まれていたが、より具体的に検討を行っていた。
- 市民合意形成の手法とプロセスにおいては、市民主導での基本整備計画案作成を基礎とし、構成の点においてもよくまとまっており、現実的かつ継続発展の可能性を感じさせる内容であった。

平成18年（2006年）6月2日

箕面駅周辺整備方針検討調査業務受託者選定会議

委員長 加藤 司